

令和8年度

森上小学校グランドデザイン

【須坂市として目指す学びの姿】

- 1 幼児期に育まれる「非認知能力」の小学校への連続
- 2 児童生徒一人ひとりの特性や学習スタイルに合わせた授業や多様な価値観に出会う学校間交流
- 3 特別支援教育の視点からのインクルーシブな教育の推進
- 4 学校運営や地域活動を支える新たな学校組織の構築
- 5 少子化へ向けた、施設の複合化や異年齢混合で行う教育活動の必要性

＜学校教育目標＞
明るく直き心
 思いやりのある子
 考える子
 たくましい子

【目指す子どもの姿】

- ・笑顔で明らかに学校生活を楽しむ子ども
- ・自分から挨拶できる子ども
- ・一生懸命に取り組み向上心のある子ども
- ・学ぶことや考えることに喜びがもてる子ども
- ・困った事や分からない事を訊くことができる子ども
- ・自分を語り、語る友や違いを受けとめられる子ども
- ・互いに認め合える子ども(自己肯定感・自己有用感 & 他尊感情をもつ)
- ・のびのびと表現できる子ども(言葉・体・歌・絵など)
- ・下級生に優しく丁寧に教えることができる子ども

学校運営の重点 「授業づくり 仲間づくり 学校づくり」

具現化 (1)子どもの願いや問いから出発し、**聴き合う関係の中で互いに高め合う** 授業づくり
 (2)相手の考えや思いを聴き、**相手の立場に立って考え、伝え、行動できる** 仲間づくり
 (3)地域を知り、地域から学び、**地域と共にある** 学校づくり

重点1: わかる 授業づくり

1 わかる授業づくりを通して学力の向上を目指す

- わかる授業を目指した日々の授業実践
 - ・願いや問いから出発する授業
 - ・聴き合い、対話の中で高め合う協働的な学び
 - ・興味関心を生かした個別最適な学びと力をつけるドリル学習
 - ・授業づくり、子どもの捉え等、指導力向上に係る研究・研修
 - ・互いの授業を見合う開かれた教室
- ICTを活用した授業改善
 - ・授業でのタブレット利活用の研究と研修
 - ・力をつけるため学習指導や視覚支援の工夫
 - ・学習ソフトを用いた個別最適学習の取組
 - ・タブレットを活用した家庭学習の工夫
 - ・情報教育の推進、情報モラルの啓発
- 学習状況の把握と取組の具体
 - ・ベネッセ学力テスト等で実態を把握し、学力向上に向け具体的取組を研究
 - ・学級ドリル等、日々の繰り返し学習の充実
 - ・児童個々の傾向をつかみ、フィードバックによる弱点の克服

重点2: 認め合う 仲間づくり

2 互いに認め合い思いやりの心を育む

- よりよい人間関係づくりを目指す学級経営
 - ・自ら進んで挨拶したり、「ありがとう」を伝えたりする日々の実践
 - ・相手の話に耳を傾け、支え合う態度の育成
 - ・学級内で自己肯定感を高め、互いを認め合う場面の設定
 - ・Q-Uを生かした個のとらえと学級づくり
 - ・日常の人権教育と道徳教育
- 他者意識を大事にした心の醸成
 - ・子ども自らが計画運営する学校行事の推進
 - ・児童会活動、クラブ活動での提案や協力
 - ・下級生への丁寧な対応と思いやり
 - ・異年齢交流の充実(体育・音楽集会、連学年活動、なかよしグループや姉妹学級活動、園小中高との交流)
- 個に寄り添う教育相談・支援体制
 - ・個の特性に応じた指導や支援、他者理解
 - ・SCやSSW等、外部機関との連携
 - ・教室、授業のユニバーサルデザイン化
 - ・計画的な支援会議と学びの場の見直し
 - ・登校支援に繋げる教育相談と取組の具体

重点3: 地域と共にある 学校づくり

3 地域を知り、地域から学ぶふるさと須坂への愛着を育む

- ふるさと学習の推進(地域との連携)
 - ・生活科や総合的な学習の充実と非認知能力の醸成
 - ・ふるさと須坂の地域学習を推進(森上の歴史や特徴、地域産業など)
 - ・福祉・交流学習の推進(園小中高や副学館、高齢者施設など)
 - ・動物飼育、植物栽培や果樹栽培、畑づくりなどの体験的な学習への取組
 - ・地域への積極的な情報発信(活動発表、学校だよりや新聞、HPで紹介)
- ・タブレットを活用した交流(学習交流、児童会交流、地域交流)
- 森上コミュニティ運営委員会の参画
 - ・コーディネーター複数人制の導入
 - ・学校支援・学習支援ボランティアの募集
 - ・あじさいルームの整備と活用
 - ・学校支援ボランティアによる協力体制(安全パトロール、読み聞かせ、環境整備)
 - ・学習支援ボランティアによる授業補佐(ミシン、毛筆、クラブ活動等の学習支援)
 - ・地域の声や学校評価を活かした取組

＜教職員の経営方針＞

同僚性を発揮する「チーム森上」の教職員

- (1)安心・安全・安定した学級づくり
 - ・心身ともに健康で子どもと向き合う時間を大切にする教職員
 - ・子どもを複数の目で肯定的にとらえて育む教職員
 - ・業務改善と非違行為根絶に取り組む開かれた教職員
- (2)わかる授業づくりと学力向上
 - ・同僚性を大切にし、認め合い、高め合い、学び合う教職員
 - ・互いの授業を見合い、校内研究や研修を充実
- (3)組織的な支えで対応することを基本とする「チーム森上」
 - ・一人の子どもについて全教職員で情報共有する生徒指導
 - ・学年会(連・低高)・研究G等で連携して取り組む教職員
- (4)保護者や地域と連携し、子どもの成長を支える学校づくり
 - ・よりよい学校環境を目指し、保護者や地域の方との懇談
 - ・見通しをもった計画的な支援会議や外部機関との連携

連携

＜保護者や地域の願い＞

子どもの成長を共に願い学校と協同

- (1)子どもたちが安心・安全に通える森上小
 - ・登校道の整備と交通安全街頭指導、ボランティアパトロール
 - ・地域の危険箇所の把握と関係機関との情報共有、改善点
- (2)自分からあいさつのできる子どもの育成
 - ・保護者や地域の方の声掛けとあいさつ運動
 - ・町別子ども会などでの振り返りと呼びかけ
- (3)「できた」「わかった」に繋げる日々の授業への協力
 - ・学習支援ボランティアによる学習支援の協力
 - ・ふるさと学習推進にかかわる関係団体や資料の紹介
 - ・家庭学習の充実
- (4)地域とともにある子どもたち&森上小
 - ・行事、参観日、懇談会、PTA活動、CS等による学校開放
 - ・お便り、HP等による発信、学校評価による振り返り

令和8年度のキーワード 「コミュニケーション力の深化」 つながりを生む授業 ⇄ 言語活動の基礎

※GD中の赤字はキーワードに関連

スパイラル的相互補完によるコミュニケーション力UP